

学長メッセージ

学長の朔でございます。

学位記を授与された、学部生 3,923 名、大学院修士課程・博士課程前期および専門職学位課程修了生 168 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ご家族や関係者の皆さまにも、心からお祝い申し上げます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、全体で行う卒業式は中止しました。福岡大学では従来、卒業生をはじめご父母の方も含めて約 1 万人が一堂に会する大規模な卒業式を挙行していました。中止は誠に残念なものがありますが、本学のコロナ対策の姿勢は、一貫して「命ファースト」です。どうか皆さんにも理解していただきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染は、全世界的有事ですが、私たちは、コロナ禍から様々なことを学んだように思います。特に私は、「何が大切かを未来志向で考えること、それまでの制度・仕組み・価値観・意識が本当に正しいか疑いの目を持つこと、正しいと考え抜いた策を勇気を持って実行すること」、これらの大切さを改めて思い知らされました。

遭遇したことの無い鬱積した現実に対して、何が課題かを捉え解決していく。そこに個々人の能力、着眼点、発想、つまり個性が生きてくるのだと思います。

皆さんはこの大変な時代に遭遇したのですから、その経験をベースに、個を活かし、個を作ることを意識してください。その過程に福岡大学での学びが必ず生きてくると思います。

さて、社会人として飛び立つ皆さんへ、幾つかお話ししたいと思います。

最初にお話ししたいことは、ここまで皆さんを立派に育ててくれた、ご両親・ご家族、先生方、そして社会に対する感謝の気持ち、自然や神を畏敬する気持ちを、忘れないでほしいということです。

私たちは、色々な弱さや欠点を持ったまま成長し、多くの人たちに支えられ、受け入れられています。そのことに対する感謝です。

皆さんは、福岡大学が社会に誇る、素晴らしきエリートであります。これからは、福岡大学の独創的な教育を受けた皆さんが、社会でそれを実践していくのです。福岡大学の「建学の精神」をもとにしたモットーとして、Steady、Sensible、Sincere and Strong、Spiritedがあります。Sで始まる5つの言葉です。この福岡大学Five Ssの精神と感謝する心で、これからの人生を乗り切ってください。

次に、人生の組み立てについてお話しします。目標は短期的、そして長期的視点で設定することが必要です。常に、志を高く維持してほしいと願っています。しかし、自分の考えたルールの上だけを歩く人は、誰一人としていません。むしろ、こうならなければ良い、という方向に、人生は動いていきがちです。人は必ず死ぬ、これがサイエンスで一番正しいエビデンスです。その観点に立って、一度の人生を懸命に駆け上がってください。命の大切さを感じながら、スウィングする皆さんを応援したいと思います。

福岡大学のスローガン、「Rise with Us」があります。共にステップアップする、というメッセージです。共に成長し、共に駆け上がろうではありませんか。皆さんは、2万人の在学生、27万人を超える卒業生、4,300人の教職員のグループの一員です。皆で連動・拍動し、社会に貢献していきましょう。

そして、最後にお話ししたいことです。

皆さんを取り巻く社会の環境は、大変厳しいものがあります。ソサエティ5.0社会に向かって動いています。世界秩序の再編が始まっていますし、情報独占、激変する生活環境など、コロナ禍と共に、様々な価値観が変わってきました。

コロナ禍の中で、従来、しなくてよかったことが大変多かったこ

とに気づくわけです。一方で会議体の在り方や、その運営の仕方にも疑問が呈されるようになりました。これはコロナがもたらした最大の効果です。サイバー空間と現実の融合から、新たな社会を設計する、新たな社会を支える人材が求められています。皆さんが、そのような社会の中で、先頭に立って進んでいってくださることを期待しています。

皆さんと顔を合わせて卒業式を行えないのが残念でなりません。しかし、いつかキャンパスで再会できることを楽しみにしています。皆さんが今後とも研鑽を重ねて、社会に貢献する仕事に邁進されるよう、期待しています。

卒業おめでとう。

令和3年3月19日

福岡大学長 朔 啓二郎